

全ては基本から始まります

2019年度 全国公的機関普通科潜水士養成課程開催日程

ようこそ普通科潜水士養成課程へ

本、課程は、これから潜水隊に所属し捜索・救助潜水士として任務に就く職員の潜水における知識・技術の基本を学ぶ課程です。公的機関普通科潜水士養成課程は1985年4月より公的機関専用のカリキュラム作成に着手し、実践と経験において様々な潜水技術を駆使して2006年10月に本格的に運用を開始しました。この課程は潜水士自身の救助が確実に出来る内容になっています。この考えは捜索・救助活動の最大の目的は、不明者を高度な捜索技術においていかに安全に発見し上げができるかです。これを確実に成し遂げるためには潜水の基本がしっかり習得されていなければなりません。普通科潜水士養成課程のカリキュラムはこの事に重きを置き潜水への取り組み確実になされていることです。



必ずお読みください

＝受講に際して＝

潜水士免許を取得してメディカルチェックに異常がないことが一つの受講条件です。毎年、潜水士の事故も発生しています。水の環境は我々、人間が絶対生命を維持できない高圧環境下であることを認識し潜水業務中や訓練時においても安全管理を行い事故が発生しないための基本技術の習得に努めなければなりません。このことは、JPRCの潜水士から潜水の基本を学んでください。

●公的機関普通科潜水士養成課程（座学1日間 実技6日間 定員6名）7月22日～28日

・第27期生 7月22日～28日 公的機関普通科潜水士養成課程 講義7単位(1日間) 実技37単位(6日間)

講義：2019年7月22日(月)

準備用品：筆記用具・電卓*（用意できれば改定後潜水士テキスト）

時間：08：30～16：55

- ・オリエンテーション
- ・公的機関の潜水士としての心構え
- ・潜水概論
- ・潜水の物理学
- ・潜水の生理学
- ・潜水機材の使用目的
- ・減圧理論

* 訓練科目項目の詳細は別紙訓練表
をご覧ください。

実技：2019年7月23日(火)～28(日)

時間：08：30～16：30

- ・潜水装備品の取り扱い装着と周囲への視・臭・聴の洞察の取り方。
- ・入水の方法と出水の方法
- ・泳力術と潜水士術
- ・息こらえ潜水の方法と技術
- ・開放回路式潜水の方法と技術
- ・緊急対処潜水法

*最終申込日：2019年6月20日(木)

●公的機関普通科潜水士養成課程（座学1日間 実技6日間 定員6名）8月19日～25日

・第28期生 8月19日～25日 公的機関普通科潜水士養成課程 講義7単位(1日間) 実技37単位(6日間)

講義：2019年8月19日(月)

準備用品：筆記用具・電卓*（用意できれば潜水士テキスト）

時間：08：30～16：55

- ・オリエンテーション
- ・公的機関の潜水士としての心構え
- ・潜水概論
- ・潜水の物理学
- ・潜水の生理学
- ・潜水機材の使用目的
- ・減圧理論

* 訓練科目項目の詳細は別紙訓練表
をご覧ください。

実技：2019年8月19日(月)～25(日)

時間：08：30～16：30

- ・潜水装備品の取り扱い装着と周囲への視・臭・聴の洞察の取り方。
- ・入水の方法と出水の方法
- ・泳力術と潜水士術
- ・息こらえ潜水の方法と技術
- ・開放回路式潜水の方法と技術
- ・緊急対処潜水法

*最終申込日：2019年7月12日(金)

●公的機関普通科潜水士養成課程（座学1日間 実技6日間 定員6名）9月16日～22日

・第29期生 公的機関普通科潜水士養成課程 講義7単位(1日間) 実技37単位(6日間)

講義：2019年9月17日(火)

準備用品：筆記用具・電卓*（用意できれば改定後潜水士テキスト）

時間：08：30～16：55

- ・オリエンテーション
- ・公的機関の潜水士としての心構え
- ・潜水概論
- ・潜水の物理学
- ・潜水の生理学
- ・潜水機材の使用目的
- ・減圧理論

* 訓練科目項目の詳細は別紙訓練表
をご覧ください。

実技：2019年9月18日(水)～9月23日(月)

時間：08：30～16：30

- ・潜水装備品の取り扱い装着と周囲への視・臭・聴の洞察の取り方。
- ・入水の方法と出水の方法
- ・泳力術と潜水士術
- ・息こらえ潜水の方法と技術
- ・開放回路式潜水の方法と技術
- ・緊急対処潜水法

***最終申込日：2019年8月15日（水）**

・2019年 特別講習 公的機関普通科潜水士養成課程 講義7単位(1日間) 実技37単位(6日間)

特別講習は、決められた日程で受講職員を出せない場合の事業所や個人でお申込みください。

・全ては各期の課程に準じて行います。

*受講日程を決められお申込みください。但し、ご希望通りの日程で講習ができるかはお約束できるものではありません。

注意：

受講は1名ですので他の訓練生と一緒に受講させたい旨のお申込みをいただくことがあります。こうしたお申込みは一切受付ていませんのでご了承ください。

***最終申込日：2019年4月23日（火）**

訓練生個人準備機材；

軽装備潜水機材一式・重装備機材一式・ボンベ2本・バディロープ(1.5m 両端にナスカン付)・カラビナ3個・潜水ヘルメット・適正ウエイト+4kg・救命胴衣・タンクハーネス・ウエビング4m1本・フルフェイスマスク・プロテクター(肘・膝)・水中ノート・その他個人的に必要な救急薬品

訓練生個人準備機材；

軽装備潜水機材一式・重装備機材一式・ボンベ本・バディロープ(1.5m 両端にナスカン付)・カラビナ3個・潜水ヘルメット・適正ウエイト+4kg・救命胴衣・タンクハーネス・ウエビング4m1本・フルフェイスマスク・プロテクター(肘・膝)・水中ノート・その他個人的に必要な救急薬品

●受講料金について

受講料：142,560円(8%税込)

受講料金は、申込用紙及びメディカルチェック表を提出後課程スケジュール表と請求書をお送りいたしますので記載された納入日までに指定の金融機関へお振込みください。*お振込手数料は受講者負担とさせていただきますのでご了承ください。

●認定証申請料金について

7,560円(8%税込)

認定証申請料金は、訓練最終日の検定に合格された後に請求書を発行いたしますのでその後指定の金融機関へお振込みください。
・お振込み料金は受講者負担とさせていただきますのでご了承ください。

●受講料金返納について

受講申込書受付後における受講料の返金はありませんのでご了承ください。

*但し、次の場合においては訓練開催を延期しますが中止はありません。*訓練再開においては双方の協議において行う。

＝地域天災等による災害派遣及び治安出動＝

受講料金：142,560円(8%税込) 認定証申請料金：7,560円(8%税込)

認定料金を含む合計金額：150,120円

お振込先

日本公的機関救助潜waters士養成センター

鹿児島銀行 鹿屋支店 普通口座：3002735

●申し込み用紙

申し込み用紙は、ここからダウンロードしてください。PDF

●メディカルチェック記入用紙

メディカルチェックは、からダウン・ロードしてください。PDF

*メディカルチェックは正確にご記入ください。「はい」と答えた項目はその症状や経過状況を詳しく記入してください。

●潜waters士免許写し・写真(上半身脱帽3cm×4cm)2枚

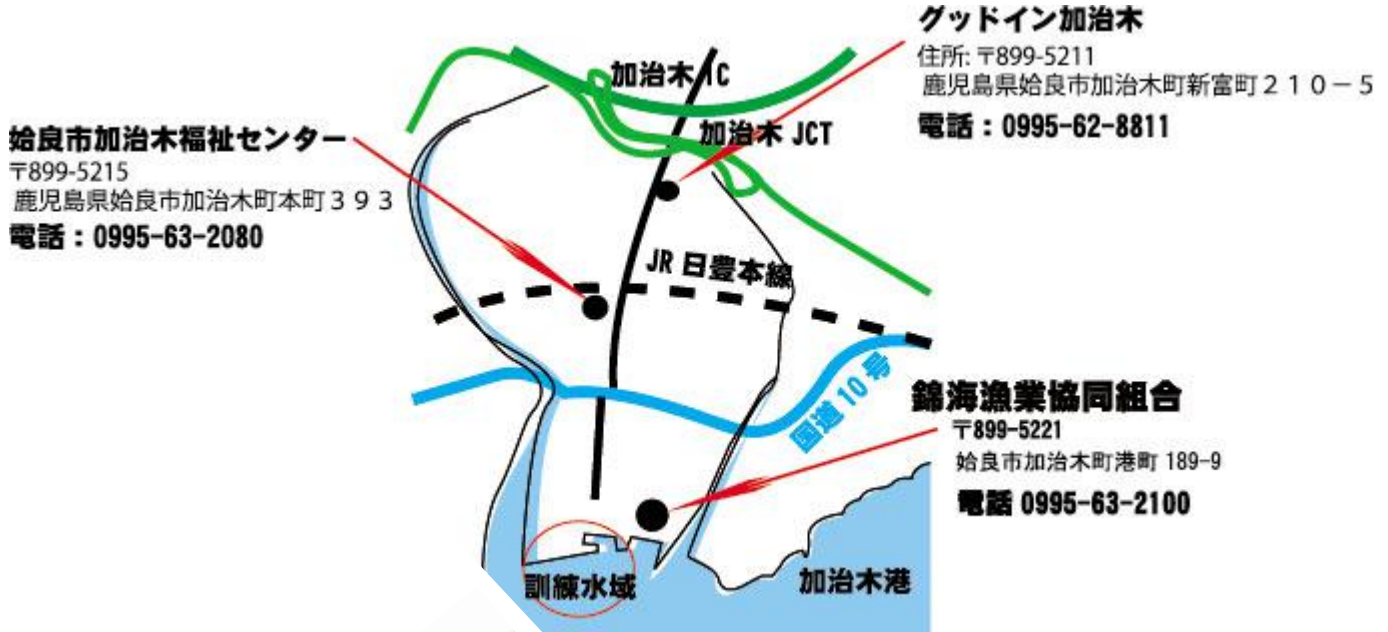
詳細はホームページでご確認ください。

<http://www.jprc.jp/>



JAPAN PUBLIC DIVER

実技訓練場所案内図



日本公的機関救助潜水土養成センター
〒893-0023 鹿屋市笠之原町 2096-2
電話：0994-35-0011
E-mail: info@jprc.jp
<http://www.jprc.jp/>

主任潜術士教官：永浜 末雄(元防衛省 海上自衛隊)

- ・日本蘇生学会 会員
- ・鹿屋体育大学 非常勤講師
- ・九州高気圧環境医学会 会員
- ・日本体育協会公認 潜水指導員
- ・日本障害者スポーツ公認 指導員
- ・日本高気圧環境・潜水医学会 会員
- ・日本スノーケリング協会公認 指導員
- ・日本海洋レジャー・安全振興協会公認 安全潜水管理者